

平成 27 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立中野小学校協議会

1 総括についての評価

【学力の向上】

習熟度別学習の取り組みを充実させたことで「わかる」「学習がおもしろい」という声が子どもから聞かれた。わかることで宿題忘れが減ってきてている。

【道徳性・社会性の育成】

縦割り活動やペア学年の取り組みを取り入れたことで年上を尊敬したり年下に優しく接したりすることができた。

【健康・体力の増進】

ランニングウォークスやジャンピングウォークスなどの体力向上の行事に加え、日々のみんな遊びや長縄などクラスでの遊びが充実し、体力向上につながった。

【地域・家庭との連携】

公開授業や日々の学習に地域の方々が参加してくれたことで、連携との連携が深められ、児童の学習意欲にもつながった。また、家庭との連携を深めるために「家庭学習の手引き(なかのマスター)」を始めたことで、保護者も子どもも意識して取り組むようになった。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：学力の向上

○学習理解度到達診断における正答率8割以上の児童の割合を、毎年、全学年で前年度より向上させる。 (カリキュラム改革関連)

○学校生活アンケートにおける「調べたり発表したりする学習は好きである」の項目について、「よくあてはまる(あてはまる)」の割合を80%以上にする。

*H25年82%、H26年82%、H27年80% (カリキュラム改革関連)

○平成27年度の学校生活アンケートで「授業が分かりやすい」と答える割合を80%以上にする。

*H25年91.5%、H26年92%、H27年95% (マネジメント改革関連)

○学校生活(保護者)アンケートにおける「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」と答える保護者の割合を平成27年度末までに80%以上にする。

*H25年95%、H26年96%、H27年97% (マネジメント改革関連)

○中野小学校版「家庭学習の手引き」を作成。

習熟度別学習を中心とした授業が子どもにとってわかりやすい。また、分からぬことも少人数で質問しやすい。子どもは、学習内容が理解できていると宿題も進んでするようになった。来年度も続けてほしい。さらに研修会を充実し、子どもが学習意欲を持ち楽しんで取り組めるように工夫してほしい。

年度目標：道徳性・社会性の育成

○平成28年度の全国学力・学習状況調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる（どちらかと言えば当てはまる）」と答える割合を90%以上にする。

*H25年94.6%、H26年93.2%、H27年71% (カリキュラム改革関連)

○全国学力・学習状況調査において、「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえども、当てはまる）」の割合を全国平均以上にする。

*H25年80.3%、H26年86.5%、H27年65.2% (カリキュラム改革関連)

○平成27年度の学校生活（保護者）アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を85%以上にする。

*H25年96.5%、H26年96%、H27年96% (ガバナンス改革関連)

縦割り班活動を通して下の学年の児童が上の学年の児童を尊敬したり、上の学年の児童が下学年の児童に親切にしたりする様子を子どもから聞いている。特に縦割り班での全校遠足はとてもその様子がよくわかる行事である。集団登校ではリーダーの育成指導が必要だと感じる班があった。

年度目標 健康・体力の向上

○平成28年度における校内体力調査において、特に課題のあるシャトルランの記録を、平成25年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査より向上させる。

*H25年83%、H26年86%、H27年89%（「運動場に出て元気に遊んでいる」の項目）

*シャトルランに関してはH25年42回、H26年42回、H27年44回

(カリキュラム改革関連)

○平成27年度末の学校生活アンケートにおける「うがいや手洗いをしている」の項目について、「よくあてはまる（あてはまる）」の割合を90%以上にする。

*H25年85.6%、H26年85%、H27年94% (カリキュラム改革関連)

外遊びが増えている。「みんな遊び」「長縄跳び」等クラス全員で遊ぶ遊びが増えたりことで運動が苦手な児童もみんなに励まされて頑張っていた。ランニングウイークスやジャンピングウイークスなどを学校全体で取り組んだことで、互いに意識しがんばろうという意識が強くなった。結果シャトルランの記録が伸びた。体力の向上につながっている。

年度目標 地域・家庭・学校の連携

○学校公開、土曜授業の実施。計6回。

内容の見直し（町会との連携、独居老人の学校招待等）

○中野小学校版「家庭学習の手引き（なかのマスター）」を作成。（→「視点 学力の向上」と関連）

○平成26年度の取り組みを継続しつつ、更に工夫を加えレベルアップする。

・ホームページのPV数を昨年度よりアップさせる。

・地域老人会と連携し、昔遊び・戦争の話等の授業を実施していただく。

公開授業や土曜授業を通して学校と地域の連携が深まった。さらに防災教育の点でもっと地域と協力できないか区役所との連携も取りながら考えてほしい。

家庭との連携では、「なかのマスター」（家庭学習の手引き）を始めたことで、基本的生活習慣や家庭学習の習慣など親子で見直す良い機会となった。子どもも○や◎の項目を増やそうと努力していた。

3 今後の学校運営についての意見

- ・縦割り班や行事等これまでの取り組を見直しより子どもたちが興味を持ち進んで取り組み、学力・体力が向上するようにする。
- ・地域・家庭との連携を深めるため、「なかのマスター」など 4 月から始められるようとする。
- ・区役所等その他の機関との連携を深めさらに充実した取り組みができるようにする。
- ・習熟度別学習の取組をさらに深めるとともに教職員の指導力の向上に努める。